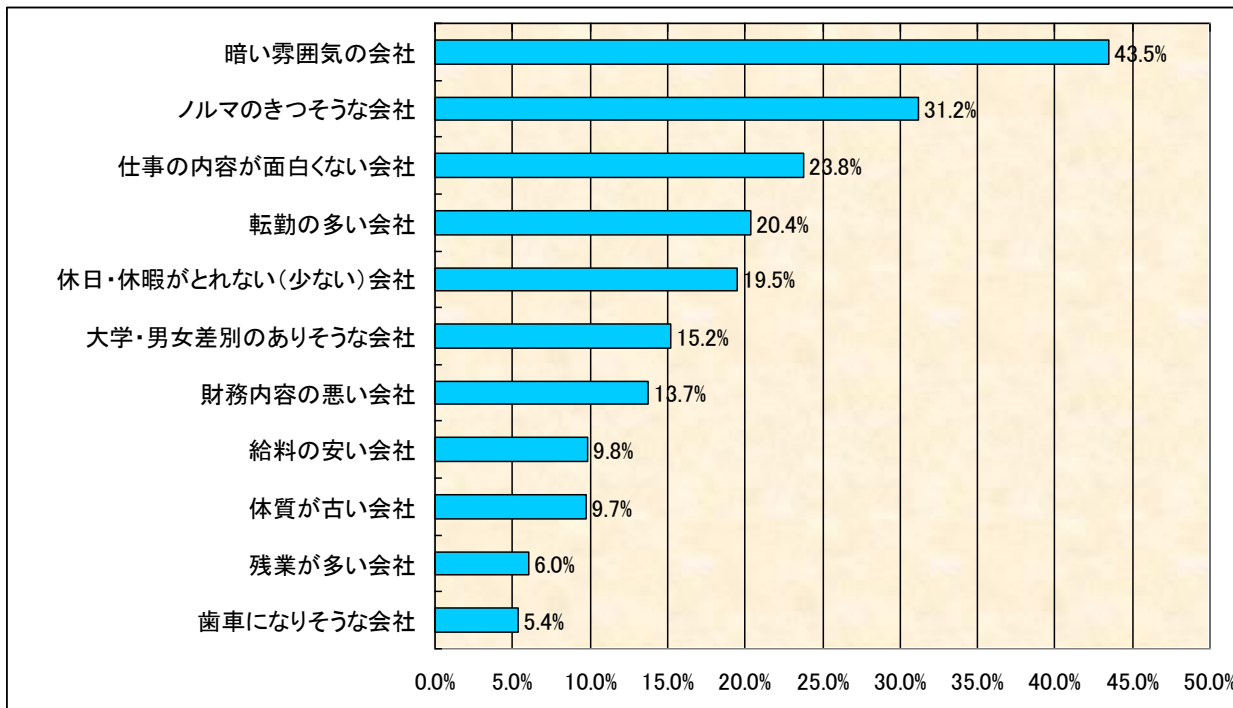




リクルーター養成研修

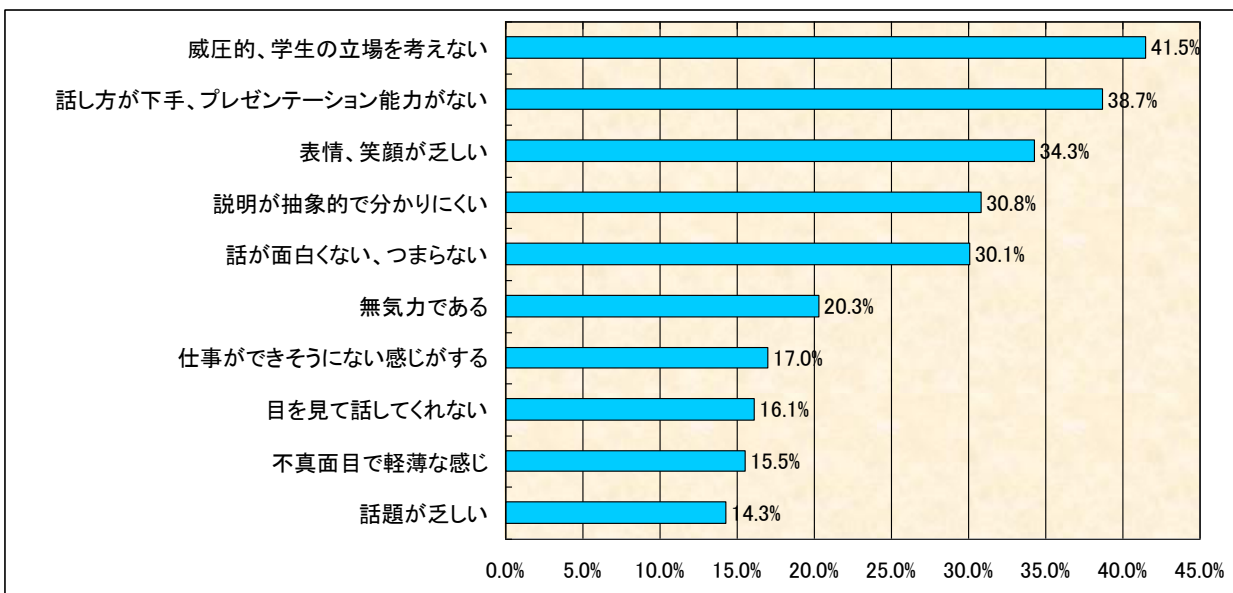
● 学生の就活観

行きたくない会社



毎日コミュニケーションズ調べ

就活生の選考・内定中における企業選択基準



毎日コミュニケーションズ調べ



リクルーターの接し方は学生の志望動機に影響を与える

● リクルーターとしての心構え

リクルーターとは

リクルーターに必要な要素

- ① 自社の魅力を正しく学生に伝えられる

- ② 学生と円滑な会話が行える

- ③ 現在の業務に対して、高いモチベーションである

採用活動の変化

| | 過去の採用活動 | 現在の採用活動 |
|-------|--|---|
| 企業の立場 | <ul style="list-style-type: none">• 学生よりも企業側が強い力関係である• 企業側に選択権がある | <ul style="list-style-type: none">• 学生と企業は対等（50/50）の関係である• 学生の意見や人格を尊重する姿勢が必要である |

MEMO

● リクルーターのNG事項＜参考資料＞

リクルーターのNG 行動

- 挨拶をしない
- 腕組み、足を組む
- 自組織の批判をする
- 競合他社の批判をする
- 機密情報に関わる発言をする
- 学生を見下す
- 学生を呼び捨てにする
- 個人携帯の連絡先を伝える

気をつけるべき環境

- 隣の部屋の声が気になる
- 人がたくさん通る場所
- 机が汚い
- 社員だけ机があった

リクルーターとして配慮すべき事項

「本人に責任のない事項」「本来自由であるべき事項」にかかわる事項は差別につながる恐れがあるので質問しないよう注意が必要である。

■ 本人に責任のない事項

- 本籍・出生地に関する事
- 家族に関する事（職業・続柄・健康・地位・学歴・資産など）
- 住宅状況に関する事（間取り・部屋数・住宅の種類など）
- 生活環境・家庭環境などに関する事

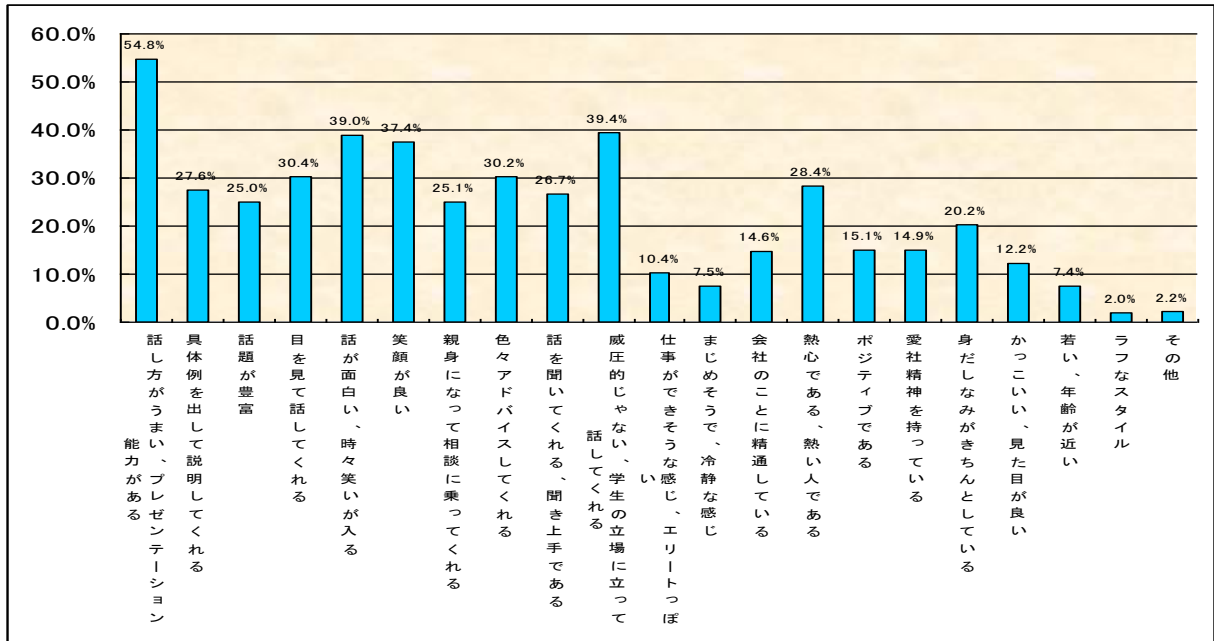
■ 本来、自由であるべき事項

- 宗教に関する事
- 支持政党に関する事
- 人生観・生活信条に関する事
- 尊敬する人物に関する事
- 思想に関する事
- 労働組合運動・学生運動など社会運動に関する事
- 購読新聞・雑誌・愛読書などに関する事

● リクルーターに求められる印象管理

リクルーターに求められる印象管理に関する調査結果を基に、受験者から見た好印象の社員の特徴を分析しています。

受験者から見た好印象の社員の特徴



毎日コミュニケーションズ調べ

採用面接は受験者に印象（好印象・悪印象）を与える重要な局面である

第一印象の重要性

候補者の企業に対する第一印象は、採用担当者の良し悪しで決まります。いくら優秀な人材が見つかったとしても、候補者により印象を持ていただかなければ、採用は難しくなります。ここでは、学生対応者として重要な第一印象を理解します。

メラビアンの法則

人は他人に何かメッセージを伝えようとするときには、通常次の三つの要素でコミュニケーションしています。それでは三要素のうち、それぞれどれくらい重要かということを考えてみましょう。

| | あなたの予想は | メラビアンの法則 |
|-------------------------------------|---------|----------|
| ① 言葉 話の内容（話の内容） | % | 7 % |
| ② 話し方（声・調子・高低など） | % | 38 % |
| ③ ボディラングージ （態度・姿勢・身振り・顔つき・外見・視線） | % | 55 % |
| | 100 % | 100 % |